

# 名古屋徳洲会総合病院 消化器一般外科



## 【当院の理念】

当病院は、名古屋市北東部のベッドタウンで有名な高蔵寺ニュータウンを擁する地域を中心とし、かなり広範囲の医療圏を担う中核医療機関として、救急から高度ながん治療そして緩和まで幅広い医療を提供すること、すなわち断らない医療を基本理念としています。そしてそのためのジェネラルに対応できかつ質の高い外科医を育成することを目標としています。

## 【当院の特色】

我々消化器・一般外科は消化器内科も兼務しており、通常発生する内科から外科への受け渡しが存在しないことが特徴です。これは外科医が消化器内科業務すべてを行うことを意味しており、ある程度以上の規模を有する病院では当院以外にはあまり例がなく、極めてまれな存在であると自負しております。この体制は消化器内視鏡専門医・内視鏡外科技術認定医を合わせ持つ医師を2名有していることにより支えられております。

当院では検診で疾患を見つける業務に始まり、胆道を含む各種カメラを外科医が行い疾患の診断、そして時にはESDなど難度の高い内視鏡治療、そして困難であれば腹腔鏡手術へとスムーズにつながっていきます。また当院の大きな特徴として高度な外科治療を提供していることがあげられます。具体的にはロボット手術による胃癌・大腸癌の手術を行っていること、また超低侵襲手術“NOTES”をめざした経口内視鏡とのコラボレーション手術EFTR・直腸Hybrid NOTES手術などの大学でしか行わないような手術も各種行っております。消化器高難度手術に関しても心臓血管外科・泌尿器科ともにこの地区トップレベルであるため、門脈形成を伴う手術や尿路形成を伴う手術なども共同で行えるため、高度の肝胆膵手術・骨盤内手術も当院にて完結できる体制にあります。さらにDEB-TACE・PSE・門脈塞栓・腹腔内出血といったIVRも、当科にて併せて行っています。そしてあらゆる治療に抵抗性となった場合も当科が管轄する緩和ケア病棟にて対応可能です。よって一旦当科を受診された方は当科を離れることなくほぼすべての消化器に関する治療を最初から最後まで質の高いレベルで受け続けられることが当科の特徴となっております。

---

病床数	350床
手術件数 (2016年)	406件
日本内視鏡外科学会 技術認定医	2名

---